

そこで内陸線と海岸線を振り分け水戸線（友部～小山）水郡線（水戸～安積永盛）



（70年近くも前から放置されたままの転車台跡、旧内原操車場跡地）
可能な しかも関東平野の再開発を目論み友部～内原の間に貨物の大操車を建設する予定
で、着工していたのです。

場所は、常磐線を走行していると友部～内原間で上り、下りの線が遠く離れており、そ